⑧防災・維持管理	新潟県	日本海東北自動車道（にほんかいとうほくじどうしゃどう） 地吹雪対策事業（じふぶきたいさくじぎょう）	平成23年度

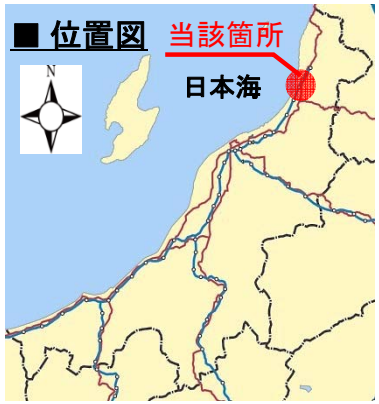
自発光式誘導標により、地吹雪発生時におけるドライバーの不安を低減

・新潟県村上市の平野部は、冬期間は降雪量が多く北西の風が強いため地吹雪が多発し、冬期の走行円滑性、安全性向上が喫緊の課題。

・平野部が続く日東道において地吹雪防止柵の整備は時間がかかるため、比較的に短期間かつ低コストで設置可能な自発光式誘導標を整備し、地吹雪発生時の安全走行を支援。

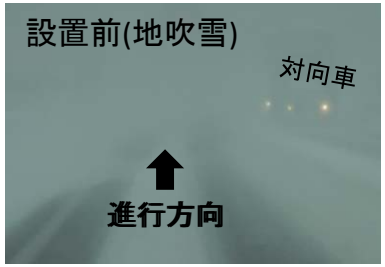
・結果、進行方向が明確となり、利用者の97%が役立つというアンケート結果が得られた。また、冬期平均走行速度に対する速度低下の割合は、未設置区間では約28%に対し、設置区間では約2%と速度低下の抑制効果が得られた。

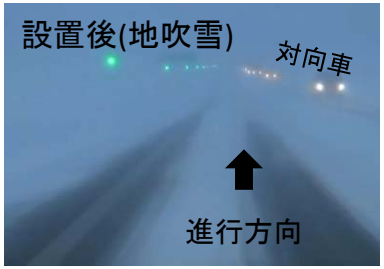
■ 位置図



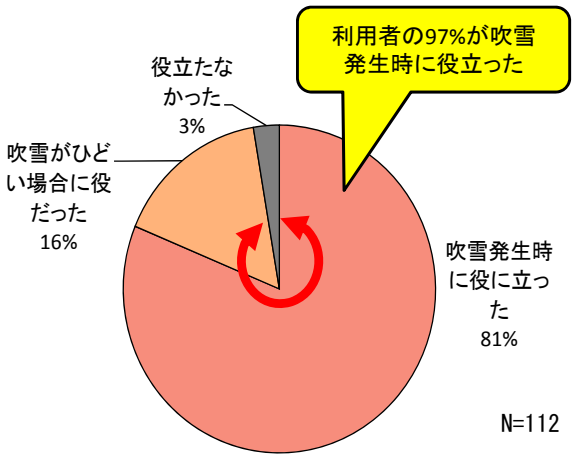
■設置区間

■地吹雪発生時の状況（車載カメラ画像、日東道 村上市牛屋付近）



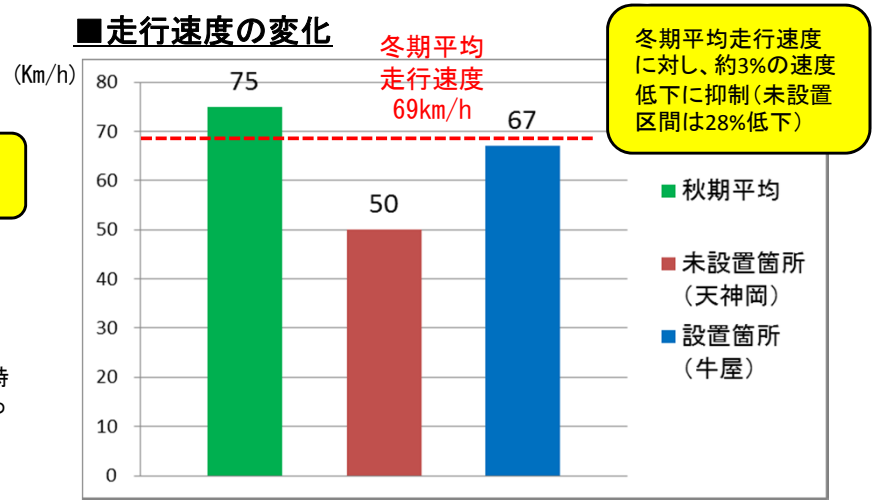


■利用者の声



※日東道利用者アンケート結果

■走行速度の変化



※未設置箇所および設置箇所の速度データは、地吹雪が発生したH24年1月26日7時～12時において測定した結果
※秋期平均は、日東道 荒川胎内IC～朝日まほろばIC間のH24年10月昼間12時間平均
※冬期平均は、日東道 荒川胎内IC～朝日まほろばIC間のH24年12月～H25年2月昼間12時間平均